

# ***DRAWMER***

## ***DA 6***

### **DISTRIBUTION AMP**

取扱説明書 Ver1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 安全に関する注意事項

### 注意 - 電源ヒューズ

火災を防止するため、電源ヒューズは必ず同一タイプのものに交換してください。

### 注意 - 電源ケーブル

付属の電源ケーブルを交換したり、改造したりしないでください。

### 注意 - 修理

修理は行わないでください。修理は必ず有資格のサービス担当者に依頼してください。

### 警告

火災や感電を防止するため、本機を雨や湿気にさらさないでください。

### 注意 - ヘッドホン

本機のヘッドホンアンプは、 $8\Omega$  スピーカーに対して  $1W$  を出力できます。過大な出力レベルでの使用によって、使用者の聴覚またはスピーカー機器に影響を及ぼすことがあります。

### 注意

感電の危険があります  
カバーを開けないでください



## はじめに

この度は、DRAWMER/DA6 をご購入いただき、誠にありがとうございます。DA6 は、XLR バランス接続を備えた 6 チャンネル・ステレオ出力（または 12 系統のモノラル出力）のディストリビューションアンプです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 概要

モノラルおよびステレオのバランス音声信号を、1つのソースから複数の出力先へ分配する用途は数多くあります。たとえば、マルチゾーン音響設備、ライブイベントの音声配信、放送スタジオ、映像編集設備、同一音源を複数系統へ送る設備、または長距離のケーブル配線で高音質な音声を複数の場所へ分配する用途などです。

Drawer DA6 は、XLR バランス接続を備えた 6 チャンネル・ステレオ出力（または 12 系統のモノラル出力）のディストリビューションアンプです。

電子バランス方式のステレオ入力には、左右独立のレベルコントロールと LED バーグラフメーターを搭載しており、ステレオ素材や 2 系統のモノラル信号を適切にバランス調整できます。6 つの各出力ペアには、左右独立のレベルコントロールに加え、モノ/ステレオ切替スイッチを備えています。これにより、2 つのステレオ信号をミックスしたり、1 つのモノラル信号を左右両方のステレオ出力へ送ったりできます。

モニター部にはチャンネルセレクト機能があり、各チャンネルの左右出力レベルを出力 LED バーグラフで表示できます。また、前面パネルのヘッドホン端子で同時にモニターできます。

補助用のバランス出力端子を 1 組備えており、さらに多くの分配が必要な場合は DA6 を追加接続できます。これらの出力は入力ゲイントリム後段から取り出されています。

## 設置

DA6 は標準的な 19 インチラックへの取り付け用に設計されており、ラックスペース 1U 分を使用します。

大きな熱を発生するパワーアンプや電源装置の真上には、本機を取り付けないでください。電源のアースは必ず本機に接続してください。取付ボルトでフロントパネルに傷や跡が付かないよう、ファイバー製または樹脂製のワッシャーを使用してください。

### オーディオ接続

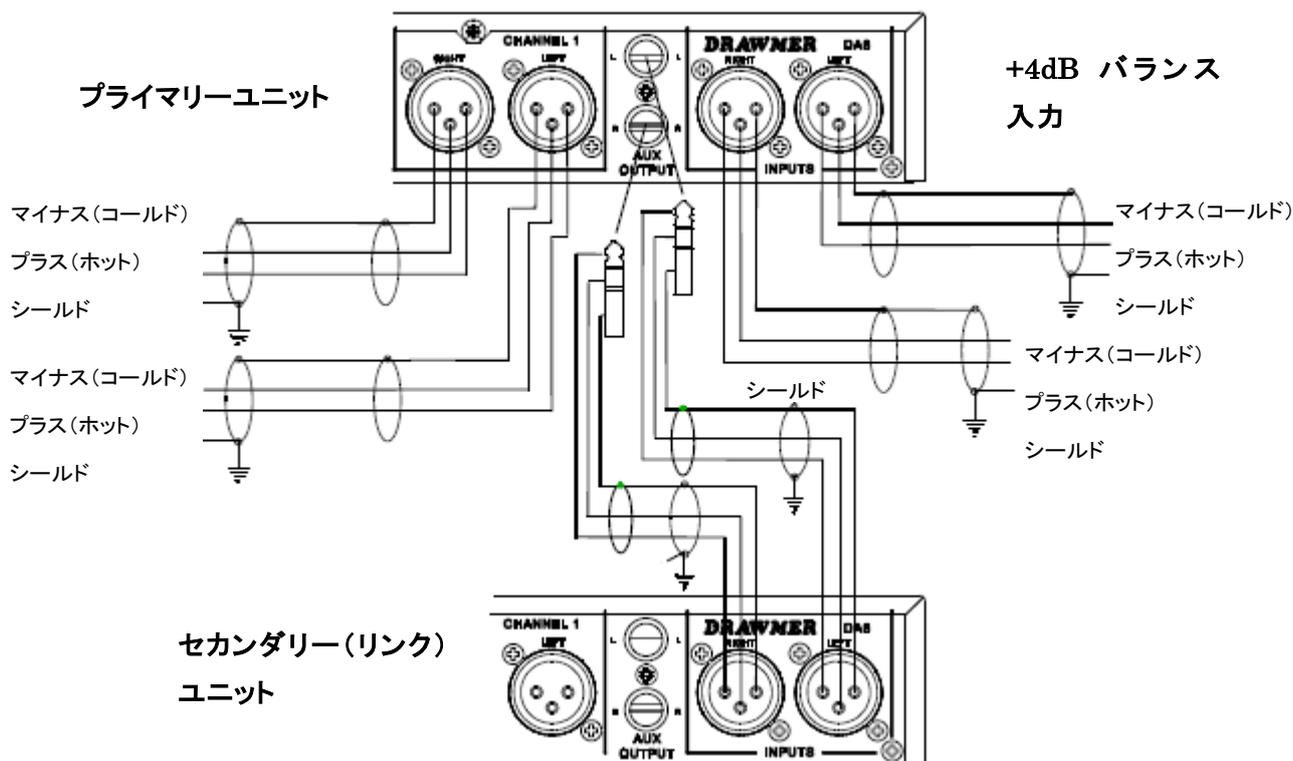
入力および出力の音声接続は、+4dBu レベルのバランス XLR で行います。

これは入力と出力の両方に共通です。配線は以下のとおりです。

ピン 1 : グランド、ピン 2 : ホット、ピン 3 : コールド

アンバランス機器で使用する場合は、XLR コネクタ内部の入力側および出力側の両方で、コールドのピン 3 をグランドに接続してください。

ステレオ Aux 出力は、バランス対応 TRS フォン端子です。Tip 接続がホット、Ring がコールド、Sleeve がグランドです。これらの接続は、3 系統を超えるステレオ出力が必要な場合に、複数の DA6 を連結するために用意されています。アンバランス機器で使用する場合は、モノラルのフォンプラグを使用するか、ジャックプラグ内部で Ring (コールド) を Sleeve 端子に接続してください。



### アンバランス動作時

各 XLR で、マイナス位相(ピン 3)をグランド(ピン 1)に接続してください

### 干渉:

本機を、テレビやラジオの送信機の近くなど、高レベルの妨害を受けるおそれがある場所で使用する場合は、バランス配線でを使用することをおすすめします。信号ケーブルのシールドは、XLR コネクターのピン 1 ではなく、シャーシ接続に接続してください。

DA6 は EMC 規格に完全に適合しています。

### グラウンドループ:

グラウンドループの問題が発生した場合は、電源のアースを絶対に外さないでください。代わりに、DA6 とパッチベイを接続している各ケーブルの信号シールドを、片側だけ外してください。

このような対策が必要な場合は、バランス接続での使用を推奨します。

## モニターヘッドホン

各出力のモニタリング用として、フロントパネルにステレオ TRS フォン端子を装備しています。配線は標準仕様で、Tip が左、Ring が右、Sleeve が共通グランドです。この出力は、 $8\Omega\sim 600\Omega$  のインピーダンスを持つヘッドホンを駆動できます。アンプの出力は約 1W です。低インピーダンスのヘッドホンを高出力レベルで使用する際は注意してください。

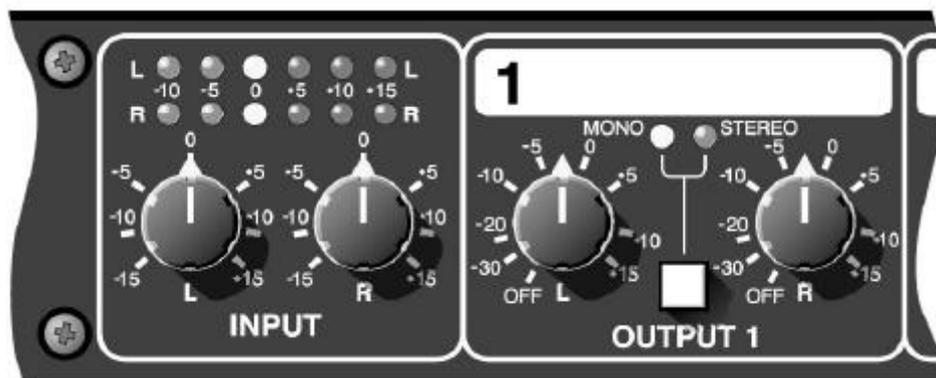
## 電源接続

DA6 には、お使いの国の家庭用電源コンセントに適した電源ケーブルが付属します。安全のため、主電源のアース接続には必ずこのケーブルを使用してください。ケーブルを改造したり加工したりしないでください。

電源ソケットには、電源ヒューズ（および予備ヒューズ）を収納した一体型ヒューズドロワーがあり、どちらも本製品の供給電圧に適した同一容量です。ドロワーは、電源コードを抜いた場合にのみ取り外せます。通常動作でヒューズが切れることはありません。ヒューズ切れが疑われる場合は、何らかの故障が発生していますので、有資格のサービスエンジニアが点検してください。ヒューズを交換する際は、必ず安全上の注意に従ってください。

## 各部の名称

DA6 は、使いやすさを重視して設計されています。-15dB~+15dB（基準：+4dBm）の範囲で、バランス信号レベルまたはアンバランス信号レベルに対応します。



### 入力 L&R

左信号と右信号の両方に対して、最適な入力ゲインを設定するために使用します。上部の表示を使い、正しい動作レベルになっていることを確認してください。±15dB の範囲で調整できます。オフセットしたステレオイメージを再調整できるよう、左右独立したコントロールを備えています。

これらのコントロールは、補助「リンク」ジャックの出力レベルも調整します。そのため、接続先のスレーブ DA6 では、入力トリムを 0dB（垂直位置）に設定するだけで使用できます。

### 入力表示

DA6 は通常ラインアンプとして使用されるため、この表示の正のゲイン領域で信号を「確認」できて問題ありません。ただし、+15dB LED が短時間を除いて点灯し続けないようにしてください。点灯し続けると歪みが発生します。

### 出力 L&R

接続した機器の入力部に合わせて、左信号と右信号の両方の最適な出力レベルを設定するために使用してください。±15dB の調整が可能です。通常、ステレオイメージのずれは、左/右の入力コントロールで補正されます。ただし、ステレオイメージ全体を完全にコントロールできるよう、左右独立した出力コントロールも備えています。

## モノ／ステレオ

チャンネル出力を、独立したステレオ信号にするか、加算してモノラル信号を生成するかを選択します。入力を 1 系統だけ使用している場合、モノが選択されると両方のソケットから出力されます。

位相がずれている 2 つの類似したステレオ信号で DA6 を動作させる場合は、注意してください。このような条件では、モノモードを使用すると出力レベルが大幅に低下します。LED はスイッチの状態を表示します。



## チャンネル選択

このロータリースイッチで、ステレオヘッドホンアンプに送るステレオ出力(またはモノ出力)を選択します。

## ヘッドホン

このコントロールで、ヘッドホンアンプの駆動レベルを調整します。高出力レベルかつ低インピーダンスのヘッドホンを使用する場合は注意してください。

## 出力表示

この表示は、ヘッドホンに送られる選択中のチャンネルのステレオ出力レベルを示します。これにより、出力信号を確認するためだけにヘッドホンを使用する必要がなくなります。

## 仕様

すべてのレベルは+4dBm 基準

入力インピーダンス : 15k $\Omega$

最大入力レベル バランス : +23.5dB アンバランス : +18dB

最大出力レベル バランス : +22.5dB アンバランス : +17.5dB (600 $\Omega$  負荷時)

出力インピーダンス : 33 $\Omega$  (バランス)

ノイズ : -95dB 以下

(ゲイン=0dB、帯域幅 22Hz~22kHz)

クロストーク : -90dB 以下 @ 10kHz

(入力をグランド接続、任意のチャンネル出力)

歪率 : @ 1kHz

出力 0dB : 0.008%未満

+10dB : 0.008%未満

+20dB : 0.015%未満

帯域幅 : 18Hz~32kHz -1dB

ヘッドホンアンプ : 8 $\Omega$  負荷で 1W を供給

推奨ヘッドホンインピーダンス : 8 $\Omega$ ~600 $\Omega$

電源要件 : 115V、50~60Hz、30W

ヒューズ定格 : 115V 時 315mAIEC、127-2 準拠

ヒューズタイプ : 20mm  $\times$  5mm、クラス 3 スローブロー、動作電圧 250V

ケースサイズ : 482mm (幅)  $\times$  44mm (高さ)  $\times$  200mm (奥行)

重量 (梱包含む) : 4.05kg

## ブロックダイアグラム

注意：

すべての入力と出力は、意図しないノイズ信号によるスピーカーの損傷を防ぐため、電源投入時はミュートされます。

